

新発売



トリビュート®OD

スズメノカタビラに即効
芝用除草剤

スズメノカタビラにピリオド

目立ちたがり屋を封じ込め。

しつこいスズメノカタビラを一掃。 美しいターフを提供します。

日本初、OD製剤。

有効成分を油に分散し、
散布時の展着力を高めます。
天候不順にも強く、
より良い保持力、
より良い吸収を
促します。



製品特長

- 1 晩秋散布で枯殺し、不効、再生個体を少なく。
- 2 低温期でも素早く生育をストップ、枯死へ。
- 3 春期の大型スズメノカタビラも一掃。

- 低温期処理、株化(分けつ)した個体にも安定した効果を発揮し、補正散布の手間、コストの削減に大きく貢献します。
- 推奨使用期間では、日本芝に比較的高い安全性を有しますので、安心して使用できます。

今までスズメノカタビラを防除しきれなかった主な理由

生態変化

- 変異性に富み、多種多様
- 多年生個体の増加
- 気温上昇に伴う発芽適温の拡大
- 生育形態の特徴

気象条件

- 温暖化(残効切れ、冬季発芽?)
- 乾燥
- 集中豪雨
- 冷夏、暖冬

作業、管理

- 適期散布の逸脱
- 刈込み、施肥、更新作業の変化
- サッチの堆積
- コスト削減
- 栽培管理の向上
- 散布技術、散布方法

薬剤

- 投下薬量、種類、回数の減少
- 処理適期幅の縮小
- 残効切れ
- 土壌吸着の強い剤
- 単剤施用
- 枯殺力の低下

多くの要因が複雑に絡み合っていました。

POINT

早春に目立つスズメノカタビラは、土壌処理剤等の残効切れ後に発芽した個体ではなく、秋に取りこぼし、再生した個体の可能性があります。

晩秋散布で確実に枯殺することが重要です。



殺草スペクトラム

科名	和名	薬量 (ml/m ²)			科名	和名	薬量 (ml/m ²)		
		0.15	0.20	0.25			0.15	0.20	0.25
イネ科	メヒシバ	○	◎	●	ナデシコ科	ハコベ	●	●	●
	スズメノカタビラ	●	●	●		オランダミミナグサ	●	●	●
	エノコログサ	◎	●	●		ツメクサ	○	○	◎
	シマスズメノヒエ	○	○	◎	ゴマハグサ科	タチイヌノフグリ	△	○	○
キク科	ヒメムカシヨモギ	○	○	◎	トウダイグサ科	コニシキソウ	△	○	○
	ウラジロチチコグサ	○	○	◎	シソ科	ホトケノザ	●	●	●
	マメカミツレ	△	○	○	マメ科	シロツメクサ	○	◎	◎
	セイヨウタンポポ	△	○	○	セリ科	チドメグサ	◎	◎	●
アブラナ科	ナズナ	○	◎	◎	カタバミ科	カタバミ	△	○	○
	タネツケバナ	◎	●	●					

●(完全枯殺) ◎(効果大) ○(効果中) △(効果不十分) ×(効果なし)

平成19、20年度日種調委託試験および社内試験より

日本芝に対する安全性

	処理日	調査日	薬量 (ml/m ²)	
			0.25	0.5
コウライシバ	茨城県 2009 4/13	2009 5/18	無	無
	埼玉県 2008 10/9	2008 10/25	無	微
	福岡県 2008 10/31	2008 11/15	無	無
ノシバ	埼玉県 2008 4/12	2008 8/16	無	無
	福島県 2008 10/16	2008 11/10	無	無
	福岡県 2008 10/31	2008 11/15	無	無

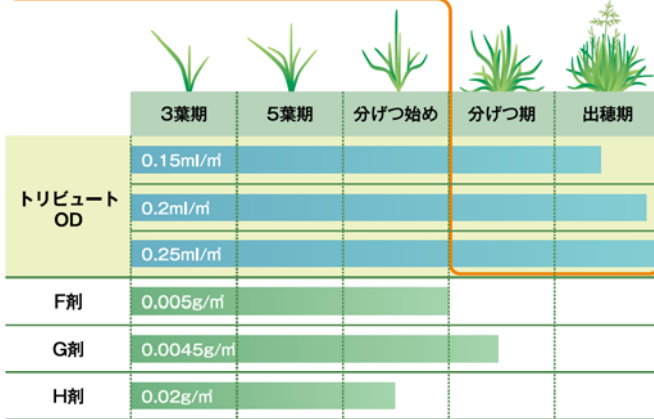
表示方法：薬害程度を大、中、小、微、無で表示

コウライシバおよびノシバに対して登録最高薬量(0.25ml/m²)では、いずれの散布時期においても薬害は見られませんが、登録最高薬量の2倍量では、10月散布により一時的な黄化が見られる例がありました。試験を解析しますと、散布日前後に最高気温が25℃以上まで上昇していることがわかりました。

最高気温が25℃以上となる日(前後)の散布は控えてください。

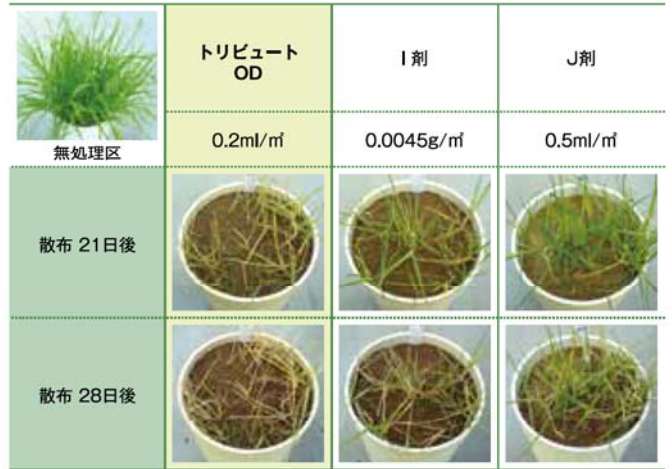
スズメノカタビラに対する除草効果

生育ステージが進んだスズメノカタビラまで枯殺



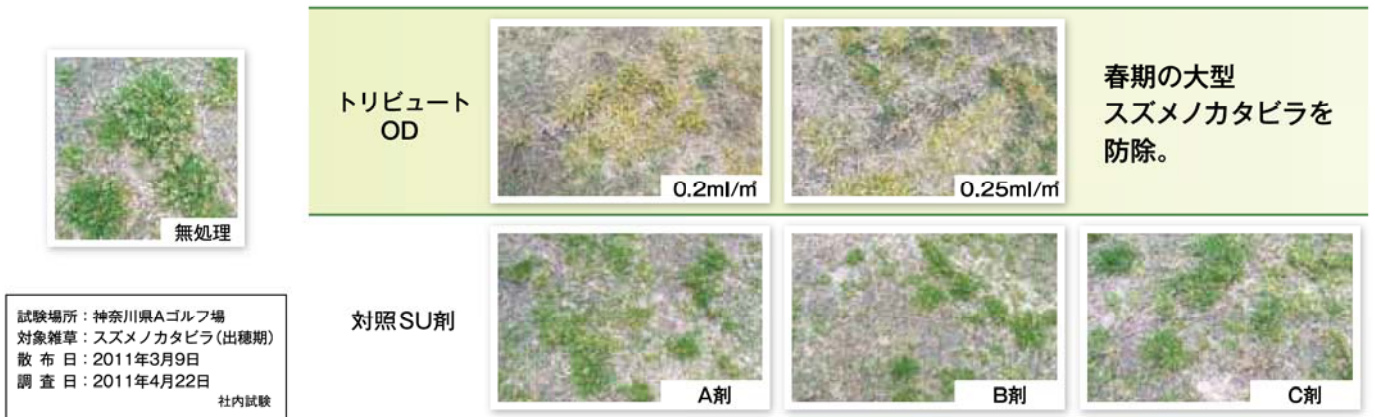
11月～4月までの社内試験事例より作成

スズメノカタビラに対する殺草スピード



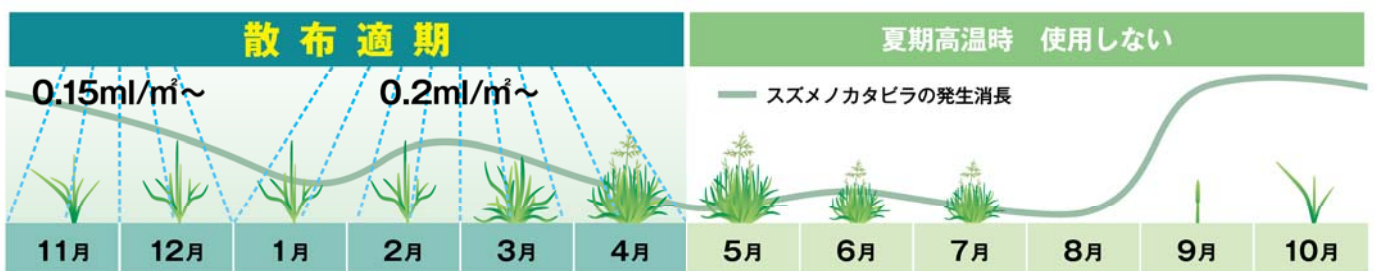
ガラス温室、生育初期時散布(社内試験)

スズメノカタビラに対する除草効果



試験場所：神奈川県Aゴルフ場
対象雑草：スズメノカタビラ(出穂期)
散布日：2011年3月9日
調査日：2011年4月22日
社内試験

上手な使い方



ベントグリーンから50ヤード以上離して使用してください。

適用と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		使用方法	本剤の使用回数
			薬量	希釈水量		
日本芝	一年生雑草 多年生広葉雑草	春夏期 雑草発生初期～生育期	200～250 ml /10a	100～200 ℓ /10a	雑草茎葉 散布	3回以内
		秋冬期 雑草発生初期～生育期	150～250 ml /10a			

有効成分と性状

種類	ホラムスルフロン水和剤
有効成分および含有量	ホラムスルフロン………2.2% 1-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)-3-[2-(ジメチルカルバモイル)-5-ホルムアミドフェニルスルホニル]尿素
性状	淡黄色水和性粘稠懸濁液体
荷姿	1ℓ×6本
消防法	危険物 第4類 第3石油類

人畜・魚介類に対する安全性(製剤)

人畜毒性	経口	ラット(♀)	LD ₅₀ >2,000mg/kg
	経皮	ラット(♂♀)	LD ₅₀ >2,000mg/kg
	皮膚刺激性		軽度刺激性あり
	眼刺激性		軽度刺激性あり
水産動植物に対する影響	皮膚感受性		感受性なし
	コイ		LD ₅₀ 26.8mg/ℓ(96hr)
	オオミジンコ(急性遊泳阻害)		EC ₅₀ >1.48mg/ℓ(48hr)
	藻類生長阻害(緑藻)		ErC ₅₀ (0-72hr)8.95mg/ℓ
	魚毒性		A類相当

安全使用上の注意事項



- 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けてください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

使用上の注意事項



- 火気や、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼な所に保管してください。
- 危険物第4類第3石油類に属するので火気には十分注意してください。

- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振ってください。
- 寒地型西洋芝(ペントグラス、ブルーグラス、ライグラス)では葉害を生じるので飛散しないよう注意して散布してください。特にゴルフ場においては、寒地型西洋芝を使用しているグリーンやティーグラウンド周辺では使用しないでください。
- 本剤の使用により、日本芝に黄変などの葉害を生じることがあるが、1～2週間で回復し、その後生育には影響を与えません。
- 本剤の散布に用いた機具類は、使用後できるだけ早く水で十分洗浄し、他の用途に使用する場合は葉害の原因にならないように注意してください。
- 本剤を貯蔵する際、高温となる場所は避けてください。
- 使用量、使用時期、使用方法を守ってください。特に初めて使用する時は病害虫防除等関係機関の指導を受けてください。
- 漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収してください。
- 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。



バイエルクロップサイエンスでは、将来の世代のニーズを損なうことなく現世代のニーズを満たす、「持続可能な発展」のため、Protecting Tomorrow...Todayをモットーに①人の健康と福祉、②自然との共存、③市場・社会とのパートナーシップを柱として様々な活動を実施しています。



トリビュート ODは、

- 日本芝の幅広い雑草を防除し芝の健康を維持することで、二酸化炭素の吸収・固定に貢献します。
- 美しい日本芝を提供することで、ゴルフプレーヤーに快適なプレー環境を提供します。
- 扱いやすいOD製剤で作業者の安全に配慮しています。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載内容以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。

販売取扱店

バイエルクロップサイエンス株式会社
エンバイロサイエンス事業本部

〒100-8262 東京都千代田区丸の内1-6-5 www.es.bayer.jp